

おおみち

第55号

平成18年(2006年)3月31日
滋賀県立安土城考古博物館



兵庫県宮山古墳出土
玉類、重要文化財(姫路市教育委員会蔵)



和歌山県大谷古墳出土
甲冑、重要文化財(文化庁蔵)

平成18年度春季特別展

吾、天下を左治す

—大王と豪族—

期間：平成18年4月22日(土)～6月4日(日)

開催時間：午前9時～午後5時(ただし入館は4時30分まで) 休館日：月曜日(5月1日は開館)

入館料：大人860円(660円)・学生610円(450円)・小人400円(300円)

※()は20人以上の団体料金です。※信長の館との共通券もあります。

主催：滋賀県立安土城考古博物館

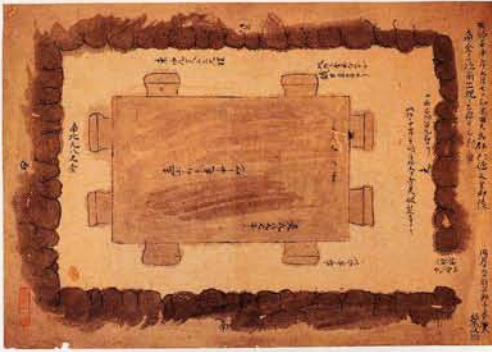
百舌鳥古墳群航空写真(堺市博物館提供)

平成一八年度春季特別展

「吾、天下を左治す」 ——大王と豪族——

大王を埋葬した大規模な前方後円墳は、五世紀の前後にはさらに巨大化が進むとともに、その築造場所を大和から河内へ移動します。一方、吉備や日向・毛野などにおいても、一五〇〜二〇〇mをこえる大規模な古墳が築造され、地方豪族の実力も侮りがたく、大和政権がまだまだ大王と豪族による連合政権であることを示しています。

今回の展覧会では、「宋書」に見える倭の五王や、金石文に見える「ワカタケル大王」が日本列島内で、抜きん出た地位をもちつつある時代でもあった古墳時代中期の中央と地方の様相を、最新の考古資料や文字資料に加えて、写真や模型・レプリカなどを用いて、わかりやすく展示します。



大仙陵出土 甲冑石棺絵図
(大阪歴史博物館蔵)

主な展示資料 (●: 国宝、○: 重要文化財)

- 埼玉県稲荷山古墳出土品 (文化庁蔵)
- 和歌山県大谷古墳出土品 (文化庁蔵)
- 兵庫県宮山古墳出土品 (姫路市教育委員会蔵)
- 大阪府応神陵古墳出土品

- (宮内庁・大阪府教育委員会蔵)
- 大阪府仁徳陵古墳出土品 (宮内庁蔵)
- 大阪府峯ヶ塚古墳出土品 (羽曳野市教育委員会蔵)
- 岡山県造山第2号・第4号古墳出土品 (岡山市教育委員会蔵)

- 宮崎県西都原古墳群出土品 (宮内庁・宮崎県立西都原考古博物館蔵)
- 群馬県お富士山古墳出土長持形石棺レプリカ (群馬県立歴史博物館蔵)

関連行事

◎ 滋賀県新開古墳出土品 (当館蔵)

記念講演会

平成一八年五月三日 (祝)

一三時三〇分〜一五時

「古墳からみた五世紀の大王と豪族」
講師：奈良大学教授 白石 太一郎氏

● 博物館講座

平成一八年五月一日 (日)

一三時三〇分〜一五時

「大王と「古墳規制」」

講師：大阪府教育委員会主査 一瀬 和夫氏

● 博物館講座

平成一八年五月二八日 (日)

一三時三〇分〜一五時

「大王に嫁いだ姫と西都原古墳群」

講師：宮崎県立西都原考古博物館主幹

北郷 泰道氏

※会場はいつでも当館セミナールーム

定員は一四〇名 (当日先着受付順、参加無料)

(財) 滋賀県文化財保護協会調査整理課通信

弘川佃遺跡出土の縄文土器

平成一七年度の整理調査から

調査整理課では、高島市今津町弘川に所在する弘川佃遺跡の整理調査を実施しています。平成一六年度に行った現地調査では、縄文時代から鎌倉時代まで継続して営まれた集落を発見しました。

整理調査では、出土した遺物量全体の八割を占める縄文土器・石器を中心に様々な情報が得られました。これらは縄文時代後期の川跡から出土したもので、特に土器は、破片を接合・復元することにより、形や文様などが明らかになりました。そして九州北東部・四国南西部の土器の搬入、関東地方を中心に日本で展開していた土器の形態や文様情報の流入、そして土器の表面に赤色顔料を塗布する例などを知ることができました。

これらの一つ一つ顔つきの違う縄文土器からは、縄文時代の人々の生活の一端をみることで、豊かな生活スタイルを想像させます。



弘川佃遺跡出土 縄文土器

収蔵資料紹介

鰐口 一口

竜王町左右神社所蔵(当館寄託品)

面径三二・〇cm

鰐口とは、動物のワニのように口が大きく裂けているところから名付けられたものらしく、金口・金鼓・打鳴などとも呼ばれます。銅製、または鑄鉄製です。その形状は扁平円形で、上部左右に「耳」と呼びならわす懸垂用の吊手、その下方に「目」という円筒形の突起があり、さらに「目」以下の裂けた部分を「口」と呼んでいます。また、鼓面中央を「撞座」と言い、多くは蓮華文などの文様を鑄出しています。周知の通り、杜寺の堂前軒下に吊り懸けて使用するもので、その前面に垂らした縄を手にした参詣人が、祈願礼拝の目的でこれを振り鼓面を打ち鳴らします。梵鐘(釣鐘)や磬・雲版などと共に、梵音具に分類される金工品です。

ここで紹介する左右神社の鰐口は鑄銅製で、鼓面外周の銘帯に以下のような銘文が陰刻されています。

美濃国本巢郡長屋郷妙覚寺鰐口

(梵字)

天文十四巳年十月吉日願主明叔

本銘によって、もともとは岐阜県本巢郡長屋郷にあった妙覚寺の鰐口として、天文十四年(一五四五年)に奉納されたことがわかります。なお、中央上部の梵字は、いくぶん字形にくずれがありますが、おそらく「バイ」(葉師如来)を示すものと考えられます。この鰐口がどのような経緯で当社に移されたのかは詳らかではありませんが、戦国時代の紀年銘遺品として、史料的高い作品と言えるでしょう。

(山下 立)



安土城郭調査研究所通信

大手西枡形虎口で新たな発見

大手西枡形虎口はこれまでの調査で、南北方向の西壁は大石を等間隔に配置する模様積みで、奥壁にあたる東西方向の石垣は大きさを揃えた石を布積みしており、石垣の築き方に違いがあることが分かっていました。今年度、環境整備工事に伴い枡形の隅を再調査したところ、東西方向の石垣がさらに西に延びており、大手石壘を造る前は狭長な郭が造られていたこと、模様積み石垣が東西方向の石垣に当てつけられており、当てつけられた石垣より西側は東西方向の石垣が埋め殺しになっていて、模様積みの石垣を積んで南に郭を拡張して推定大手西櫓台と西枡形虎口を造っていることが分かりました。模様積みの石垣は、天皇行幸のために造った三門を備えた石壘等、大手周辺に見られます。大手西の拡張郭は信長がある時期、大手の構造改変を命じた証ではないでしょうか。



模様積みの石垣

博物館の主な催し

6 月	5 月	4 月	月
平成18年度春季特別展「吾、天下を左治す―大王と豪族―」 4月22日(土)～6月4日(日)			展示
<p>7月15日(土)～9月10日(日) 企画展「丸木舟の時代―びわ湖と古代人―」</p> <p>15日(木) 7月9日(日) 写生大会作品展示</p> <p>25日(日) 博物館講座「大津市関津遺跡の調査」(当日受付、先着140名) 講師：藤崎 高志氏(滋賀県文化財保護協会主任技師) 時間：午後1時30分～午後3時</p> <p>28日(日) 特別展記念連続講演会第三回 「大王に嫁いだ姫と西都原古墳群」(当日受付、先着140名) 講師：北郷 泰道氏(西都原考古博物館主幹) 時間：午後1時30分～午後3時</p> <p>21日(日) 体験博物館「古代食をつくる」(要申込、先着20名) 時間：午後1時30分～約2時間 場所：安土城考古博物館 参加費：実費(材料費) 500円</p> <p>14日(日) 特別展記念連続講演会第二回 「大王と「古墳規制」」(当日受付、先着140名) 講師：一瀬 和夫氏(大阪府教育委員会主査) 時間：午後1時30分～午後3時</p> <p>7日(日) 瓢箪山古墳を探検する(要申込、先着30名) 時間：午後1時30分～約2時間 集合：安土城考古博物館 参加費：無料</p> <p>6日(土) 「近江風土記の丘」を描こう！親子写生大会(当日受付) 時間：午前10時～午後4時(雨天の場合は7日に順延) 場所：「近江風土記の丘」内の各地 参加費：無料</p> <p>5日(祝) 体験博物館「勾玉をつくる」(要申込、先着各20名) 時間：午前10時～約2時間 午後1時30分～約2時間 場所：安土城考古博物館 参加費：実費(材料費) 500円</p> <p>3日(祝) 特別展記念連続講演会第一回 「古墳からみた5世紀の大王と豪族」(当日受付、先着140名) 講師：白石 太一郎氏(奈良大学教授) 時間：午後1時30分～午後3時</p> <p>23日(日) 春のお茶会(当日受付、約100名) 時間：午前10時30分～午後3時 場所：当館1階エントランスホール 料金：500円 お茶、菓子代(実費)</p>	博物館の行事		

講演、講座は当館セミナールームで行います。(無料)

6館ガイド滋賀

滋賀県立琵琶湖博物館

キャラリー展示「つかんだ・つんだ・いつもいた―あの生き物はいま…?―」

会期：4月29日(土)～6月18日(日)

内容：子供の頃、はらっぱ、田んぼ、小川や琵琶湖で出会った植物や動物たちが、今どうしているのかを探ります。

観覧料：無料

(常設展示をご覧になる場合は一般600円/高大生400円/小中生250円)

問合せ：TEL 077(568)4811

URL <http://www.lbm.go.jp/>

滋賀県立近代美術館

「生誕120年 川端龍子展」

会期：4月11日(火)～5月21日(日)

内容：大作主義による「会場芸術」を唱え、異端と評されながら精力的に活動した日本画家の大回顧展です。

観覧料：一般900円/高大生650円/小中生450円

問合せ：TEL 077(543)2111

URL <http://www.biwa.ne.jp/~sg-kinbi/>

滋賀県立陶芸の森陶芸館

特別展「人のかたち―もうひとつの陶芸美」

会期：3月18日(土)～6月25日(日)

内容：「人」をテーマに、日本・海外の現代の陶芸作家たちを一堂で紹介する、国内初の展覧会です。

観覧料：一般700円/高大生500円/小中生300円

問合せ：TEL 0748(83)0909

URL <http://www.sccp.or.jp/>

滋賀県立芸術劇場 びわ湖ホール

びわ湖の夏・オペラ ビエンナーレ

トーマ作曲 歌劇『ミニヨン』(全3幕)日本語上演

公演日：7月22日(土)・23日(日) 各日14:00～開演

内容：ソリストや合唱を全国オーディションで決定し、ビエンナーレ方式(2年に1度)でお贈りするオペラシリーズ。2回目となる今回は、ゲーテの原作で「君よ知るや南の国」で知られる19世紀のフランス・オペラの傑作『ミニヨン』を上演します。

料金：S席7,000円 A席5,000円 B席3,000円

25歳未満はS～B席2,000円

3月29日(水)発売

問合せ：TEL 077(523)7136(びわ湖ホール・チケットセンター)

URL <http://www.biwako-hall.or.jp/>

滋賀県立琵琶湖文化館

小企画展示「滋賀県新指定文化財展」

会期：4月15日(土)～4月30日(日)

内容：新たに滋賀県指定文化財となった美術工芸品を紹介いたします。

テーマ展示「近世絵画による春の風物詩」

会期：4月1日(土)～5月28日(日)

内容：春をテーマにした絵画約30点を展示します。

観覧料：大人300円/高大生200円/小中生120円

問合せ：TEL 077(522)8179

URL <http://www2.ocn.ne.jp/~biwa-bun/>

おおてみち 第55号
平成18年(2006年)3月31日発行

編集・発行 滋賀県立安土城考古博物館
〒521-1311 滋賀県蒲生郡安土町下豊浦6678 TEL 0748-46-2424
E-mail: gakugei@azuchi-museum.or.jp URL <http://www.azuchi-museum.or.jp>